

基本目標3 一人ひとりに寄り添い『未来』へつなげるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和5年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえた 事業内容の見直し	今後の 方向性	担当部署
1 一人ひとりに寄り添う相談体制をつくる	1 福祉総合相談窓口（総合案内）の設置	福祉に関する困り事を中心に、さまざまな悩みや相談を聴き、適切な相談先へつなぐ福祉総合相談窓口（総合案内）の設置を検討します。	①地域包括支援センターの体制整備を優先したため、総合相談窓口については翌年度以降検討することとした。 ③今年度、協議を実施しなかった。	△計画より遅れている	①基幹型地域包括支援センターが中心となるが、部内の協議が必要。 ③地域包括支援センターが核となると思われるが、どのような形で関わっていくか。	①無し ③無し	拡充	①高齢者支援課 ③社会福祉課
	2 民生委員・児童委員活動への支援	「民生委員児童委員協議会」の活動に関する経費について、補助金を交付します。また、民生委員・児童委員活動に必要な情報を提供し、活動を支援します。	③民生委員児童委員協議会補助金を交付し、民生委員児童委員協議会活動の支援を行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	③民生委員の確保	③無し	維持	③社会福祉課
	3 包括的支援事業	介護予防ケアマネジメント、総合相談支援、権利擁護、包括的・継続的ケアマネジメント業務を行う「地域包括支援センター」を委託・運営するとともに、機能の強化を検討します。また、身近な所で相談を受け付けて地域包括支援センターへつなぐための窓口（ブランチ）業務と高齢者福祉サービスの実施を、市内7か所の社会福祉法人（「在宅介護支援センター」）へ委託します。	①令和6年度以降の地域包括支援センターの委託についてプロポーザルを実施し選定。また、基幹型センターや在宅介護支援センターの在り方についても協議し、体制を整備した。	○ほぼ計画どおり進んでいる	①地域包括ケアシステムを構築するための体制整備ができ、今後は地域課題解決に向け様々な取り組みの検討が必要。	①無し	拡充	①高齢者支援課
	4 教育相談の実施	不登校や養育に課題のあるケース（虐待を含む）に対して学習サポートや相談業務を行い、家族も含めた支援を行います。	⑨教育相談件数 1,822件 （令和6年3月15日現在）	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨ケース数の増加と共に学校復帰をする子どもが増えてきた。復帰する前の学校の受入体制の整備（教師の意識、在校時間の調整、保護者面談等）を丁寧に行う必要が生じ連携強化が課題である。	⑨面談等を積極的に行い、保護者の意向や子どもの意向を聞き取り、支援の内容に活かしていく。	維持	⑨子ども教育課
2 困りごとを抱える人をみんなで支える	1 生活困窮者の自立に向けた支援	生活保護に至る前の生活困窮者への「住居確保給付金」の支給や就労支援等を行い、自立に向けた支援を図ります。	③事業契約者数（延べ） 24人 新規相談受付件数 52件 住居確保給付金支給件数 0件	△計画より遅れている	③期限を設けてプランに対し支援を行っているが、家計改善支援や就労準備支援とは違い、相談支援に関しては、終結することが出ずプランの継続傾向にある。住居確保給付金は、周知不足なのか相談に至るケースはない。	③無し	維持	③社会福祉課
	2 DV緊急避難の支援	配偶者からの暴力を受けた被害者とその家族に、緊急避難のための緊急一時保護、避難費を支給し、被害者の保護を図ります。	③緊急避難のための緊急一時保護 0件	○ほぼ計画どおり進んでいる	③緊急避難先の確保	③無し	維持	③社会福祉課
	3 「社会を明るくする運動」の実施	保護司や更生保護女性会と共に「社会を明るくする運動」を実施し、犯罪や非行の防止と犯罪をした人たちの更生、再犯防止を呼びかけます。	③市内小中学校に「社会を明るくする運動」作文コンテストの作品を募集し、小学校から54人、中学校から124人応募があった。また、7月の強化月間にキャラバンを行い、併せて回覧による広報で「社会を明るくする運動」の周知を図った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	③効果的の啓発方法の検討	③無し	維持	③社会福祉課
	4 障害者虐待防止対策の実施	障害者虐待の未然防止や早期発見、迅速な対応、その後の適切な支援を行うため、「障害者虐待防止センター」へ委託し、地域の関係機関等の協力体制の整備や支援体制の強化を図ります。	③「市虐待防止センター」の運営を民間事業者へ委託し支援体制の強化を図った。 通報件数 17件	○ほぼ計画どおり進んでいる	③無し	③無し	維持	③社会福祉課
	5 高齢者虐待防止対策の実施	高齢者虐待の早期発見と防止を図るため、「高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議」を開催します。	①高齢者虐待防止ネットワーク代表者会議を開催	○ほぼ計画どおり進んでいる	①虐待の早期発見や対応のほか、養護者支援についても検討が必要。	①無し	維持	①高齢者支援課
	6 児童虐待防止対策の実施	児童虐待の早期発見・早期対応と不適切な養育や虐待の予防に関する児童の見守りを、「教育相談センター」と各小中学校・子ども園等や児童相談所・警察等関係機関が連携して行います。また、児童虐待防止については、子育て世代包括支援センターや教育相談センター等が連携しながら進めます。	⑨関係者会議 90回 関係者協議 1483回 所属訪問 117回 （令和5年3月15日現在） ⑫特定妊婦に対して子ども教育課と健康推進課で同行訪問を実施。医療機関とも情報の連携を図れた。 妊婦アセスメント会議では、事例検討の機会を設け、支援の振り返りを行った。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑨ケースが非常に増加している。ひとつひとつが抱える問題が大きく、ケース対応や関係機関の調整に時間がかかってしまう。いかに職員間で連携をとって仕事を円滑に進めていくかということが引き続き課題である。 ⑫来年度は子ども教育課の中に母子保健・児童福祉が集約されるので、情報共有がタイムリーにできるようになる。半面情報管理の徹底が必要となる。	⑨きめ細やかな対応を継続していく。家庭訪問や面談の機会を多くし、対面に対応できるようにしていく。 ⑫なし	維持	⑨子ども教育課 ⑫健康推進課

基本目標3 一人ひとりに寄り添い『未来』へつなげるまちづくり

実現するためにめざすこと	施策・事業	取組内容	令和5年度実績	進捗状況	課題等	Withコロナ アフターコロナを踏まえ た事業内容の見直し	今後の 方向性	担当部署
	7 成年後見制度の利用促進	南房総市・館山市・鴨川市および鋸南町の3市1町で設置している「安房地域権利擁護推進センター」（中核機関）において、必要な人に成年後見制度の利用に向けた適切な支援を行います。	①安房3市1町で設置した安房権利擁護推進センターと連携し、相談支援や普及啓発、後見人候補者等の支援・マッチング、市民後見人の育成等を推進した。 令和5年度市長申立数：6件	○ほぼ計画どおり進んでいる	①市民後見人選任の見通しであったが、諸事情により見送られている。引き続き中核機関を中心に検討を進める。	①無し	維持	①高齢者支援課
3 地域で生活するための環境を整える	1 障害者グループホーム・知的障害者生活ホームに関する助成	グループホーム・生活ホームの運営者に対し、事業に要する費用の一部を助成します。また、入居者に、家賃を助成します。	⑬小規模グループホーム、生活ホームの運営者に対し運営費補助金を助成。また入居者に対し家賃補助金を助成した。 【小規模グループホーム】 運営費補助金 29事業所 家賃補助金 90人 【生活ホーム】 運営費補助金 1事業所 家賃補助金 1人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑬無し	⑬無し	維持	⑬社会福祉課
	2 「母子家庭等自立支援教育訓練給付金」の支給	母子家庭の母、父子家庭の父の自立を促すため、就業を目的とした教育訓練に関する講座を受講し、修了した場合に、受講費の一部を支給します。	⑭母子家庭自立支援教育訓練給付金 受給者 1人 対象講座 介護福祉士実務者研修	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑭無し	⑭無し	維持	⑭社会福祉課
	3 シルバー人材センター運営への助成	「南房総市シルバー人材センター」の健全な運営と高齢者等の雇用の安定を図るため、補助金を交付します。	⑮高齢者の臨時的かつ短期的就業の機会を確保するため、南房総市シルバー人材センターへ運営費補助金を交付した。 令和5年9月に経営改善計画が策定され、収支改善とガバナンス強化を図っている。 令和5年度未会員数（2月末時点） 172人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑮経営改善計画に基づき、会員不足、収入の減少及び高コスト体質を改善する必要がある。	⑮無し	維持	⑮高齢者支援課
	4 就労・スキルアップ支援事業の充実	市内事業者の社員の専門資格取得、技術向上のための研修受講の支援や市民が就労するための資格や技術を取得することへの支援等を行います。	⑯中小企業人材育成事業補助金 24社 110人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑯無し	⑯無し	維持	⑯商工課
	5 新規就農者への支援	就農へ向けた準備段階となる技術、知識などの研修と就農直後の経営の安定化や農地確保等を支援し、新たな就農者を確保・育成します。	⑰【市単補助事業】就農研修支援事業 農業経営体育成セミナー 4人 先進農家等研修 8人 研修生受入支援事業 4人 経営自立安定支援事業 2人 【国庫補助事業】 農業次世代人材投資資金 令和4年度からの継続 3人 夫婦型 1組 経営開始資金 令和4年度からの継続 2人 新規 1人	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑰総合相談により補助事業や農地紹介等の支援体制を引き続きPRしていく。	なし	維持	⑰-2 地域資源再生課
	6 漁業後継者の育成	漁業従事者の減少・高齢化が進むなかで、漁業が持続的に発展していくよう、意欲ある新規漁業就業者を確保し後継者を育成します。	⑱11人 (配置網漁3人、さば・さんま漁5人、地域おこし協力隊2人)	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑱無し	⑱無し	維持	⑱-1 農林水産課
	7 空き家バンク事業の充実	市内の空き家の所有者と利用希望者とを適切に結びつけ、空き家利用促進のため改修費用を助成します。また、「南房総市空き家バンク協議会」と協働で専門的支援を行います。	⑲空き家利用促進奨励補助金 6件 南房総市空き家バンク協議会と連携して空き家対策セミナーと空き家相談会を開催し、物件登録の拡充に結び付いた。	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑲空き家バンクの利用者登録数に対し、物件数が不足している。	⑲無し	拡充	⑲建設課
	8 住宅取得奨励金の交付	若者世代支援・地元業者育成、定住促進と地域経済の活性化を図るため、一定要件を満たす新築住宅取得者に対し、奨励金を交付します。	⑳交付件数 13件 令和5年度事業実績 835万円	○ほぼ計画どおり進んでいる	⑳移住定住施策は、他部署との連携が必要不可欠である。今後も効果的にPR出来る連携強化に務める。	⑳無し	維持	⑳建設課